

沼隈ぶどうジュース販売開始 今年のテーマは「老若男女」

ぬまくま夢工房

ぶどうジャムも同時販売

福山市沼隈町の特産品を開発すると共に販売にも力を入れている(有)ぬまくま夢工房(同市御船町1-13-5・株中島商店内、中島基晴社長、電084・922・4870、<http://numakuma-yume.com/>)は、昨年に続き「当地飲料」「沼隈ぶどうジュース」の「写真」の販売を始めた。



広島県の「地域資源」に認定されている「沼隈ぶどう」の「ベリールA」を9月中旬に収穫。色、香り、味(甘みや酸味)のバランスのとれた「沼隈ぶどう」の魅力を引き出すため、朝摘みにこだわり、手早く短時間で絞り上げた。400本限定生産。

同社は「人と自然のつながり」をテーマに同ジュースを手掛けているが、今回のメインテーマは「老若男女」。同社は「子供から大人まで安心して飲んでいたいただけます」とPRしている。

小売価格は1本(500ml)1900円。地域資源の桐を使用した箱入り2500円、緩衝材の原料にトウモロコシを使用したエコケース入り2300円(いずれも税込み)。

また、新商品として「沼隈ぶどうジャム」(1個税込み38

0円、80個限定)も販売。販売は同社とネットのほか、アリストぬまくま道の駅、(沼隈町)、備後ふくやま丸ごと物産館「ふくやま産SUNひろば」(延広町)、いこうさんのお店(松永町)でも扱う。